

## 非常時・災害時における生徒の安全確保について

1. 横浜市内に『特別警報』（大雨、暴風、高潮、波浪、暴風雪、大雪）、『暴風警報』、『大雪警報』、『暴風雪警報』が**午前6時**の時点で発令されている場合。

○当日は、**全市一斉臨時休校**になります。この場合、メール配信は行いません。

2. 生徒が学校にいる間に横浜市内に『特別警報』（大雨、暴風、高潮、波浪、暴風雪、大雪）、『暴風警報』、『大雪警報』、『暴風雪警報』が発令された場合。

○警報の発令状況により、状況に応じて授業を打ち切り、速やかに下校させるか、学校に留め置くかを判断します。

3. 横浜市内に『大雨』や『洪水』などの警報・注意報が発令された場合。

○登校前ならば、家庭で安全を確かめてから登校させてください。安全確認のために遅れて登校しても、遅刻扱いにはなりません。

○登校後ならば、状況に応じて一斉下校の措置を取ることもあります。

4. 生徒が学校にいる間に大きな地震（震度5強）があった場合、学校に留め置きます。

○生徒は、引き取り者のお迎えがあるまで、学校に待機します。

○停電や通信網が混乱するため、メール配信等の連絡がスムーズでないこともあります。保護者の方は、学校から連絡がなくても、お子さんを迎えに来てください。引取カードにて確認しお子さんをお引き渡しいたします。

5. 震度5弱以下であっても、横浜シーサイドライン、京急線、JR根岸線の全てがストップし運転再開の見込みが立たない場合は、学校に留め置きます。

○対応は上記4のとおりになります。

6. 生徒が学校にいる間に地震のため学校及び周辺の地域が停電を生じ、安全に帰宅させることができないと判断される場合、生徒は学校で留め置きます。

○対応は上記4のとおりになります。

7. 生徒が学校にいる間に事件が発生し、下校が困難な場合、学校に留め置きます。

○生徒は、引き取り者のお迎えがあるまで、学校に待機させます。

○保護者の方は、メール配信にて確認し、お子さんを迎えにきてください。引取カードをもとにお子さんをお引き渡します。

8. 帰宅後・登校前の時間帯また休日、夜間等に横浜市域のいずれかで震度5強以上の地震が発生した場合。

○当日と翌日は、全市一斉臨時休校となります。

※ただし、被害が少ないなど、学校長の判断により授業実施の場合もあります。

学校にお問合せいただいた場合、道路状況や交通機関の影響により、職員の学校到着に時間がかかり、対応できないこともあります。各ご家庭でも、スマートフォンやテレビ・ラジオ等で最新情報の収集をお願いいたします。